

議会だより しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

No.183

ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください ☎043-496-1171

平成29(2017)年5月10日発行

交通ルールを学び命を守る 酒々井小交通安全教室

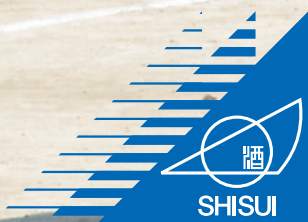


4月25日に酒々井小学校で交通安全教室が開かれ、子どもたちが警察や交通安全協会の方から道路横断の方法などを学びました。

議会の構成が変わりました・・・・・・・・・・・・・・・・P2~P3

平成29年度予算、議案審議・・・・・・・・・・・・・・・・P4~P11

道路整備事業や子育て支援、公共施設整備など議員12名が町政を問う・・・・・・・・P12~P19



新議長 新副議長 が4月臨時会で決定



副議長

川島 邦彦



議長

佐藤 修二

**公正、誠実な議会運営を
心がけ、職務にまい進**

町民の皆様には、日頃から町議会にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

この度、議員各位のご推挙によりまして議長
の要職に就くことになり、責任の重さを痛感し
ているところです。議長として、公正で誠実な
議会運営を心がけ、町の発展のために誠心誠意
職務にまい進する覚悟でございます。

皆様方のなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りま
すようお願い申し上げます、就任のあいさつとさせ
ていただきます。

**町民福祉の向上と
町の発展のため努力**

この度、議員各位のご推挙によりまして副議
長の要職に就くことになりました。

町民福祉の向上、町の発展のために精一杯務
めさせていただきますと決意しております。

今後、皆様方のご指導、ご支援をお願いい
たしまして、副議長就任のあいさつとさせてい
ただきます。

<議会運営委員会>

◎高崎 長雄	○地福美枝子	小早稲賢一
平澤 昭敏	御園生浩士	須藤 伸次

※◎は委員長、○は副委員長

<議会だより編集特別委員会>

◎齊藤 博	○濱口 信昭	川島 邦彦
那須 光男	酒瀬川健一	須藤 伸次

<議会選出の一部事務組合等議会議員>

組合等名	議員名
印旛衛生施設管理組合	平澤 昭敏
佐倉市八街市酒々井町消防組合	小早稲賢一 越川 廣司
佐倉市、四街道市、酒々井町 葬祭組合	高崎 長雄 濱口 信昭
佐倉市、酒々井町清掃組合	酒瀬川健一 須藤 伸次
千葉県後期高齢者医療広域連合	内海 和雄

常任委員会等の構成も変わりました

総務常任委員会

議会事務局、総務課、企画財政課、会計室、選挙管理委員会、監査委員に関する事務および他の常任委員会に属さない事務



◎平澤 昭敏
公明党 4期



○那須 光男
無所属 2期



高崎 長雄
無所属 8期



佐藤 修二
無所属 3期



川島 邦彦
無所属 3期

教育民生常任委員会

税務住民課、住民協働課、健康福祉課、教育委員会、固定資産評価委員会に関する事務



◎御園生 浩士
無所属 3期



○濱口 信昭
無所属 1期



地福美 枝子
日本共産党 7期



越川 廣司
無所属 4期



江澤 眞一
無所属 4期



齊藤 博
無所属 3期

経済建設常任委員会

経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会に関する事務



◎小早稲 賢一
自由民主党 6期



○須藤 伸次
無所属 1期



竹尾 忠雄
日本共産党 6期



内海 和雄
無所属 3期



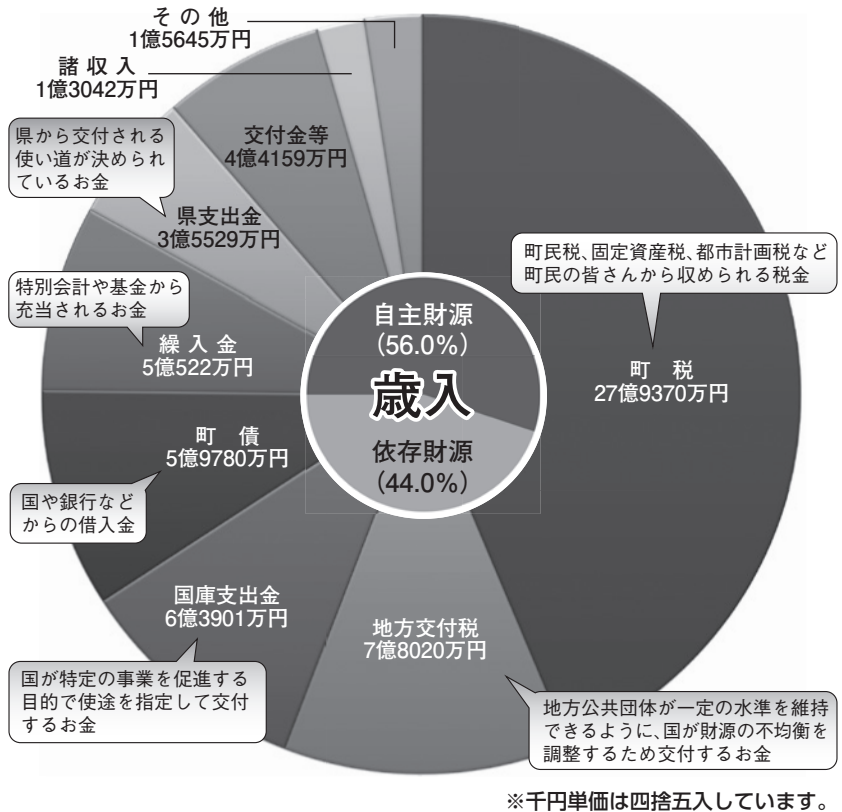
酒瀬川 健一
無所属 2期

過去最大規模に

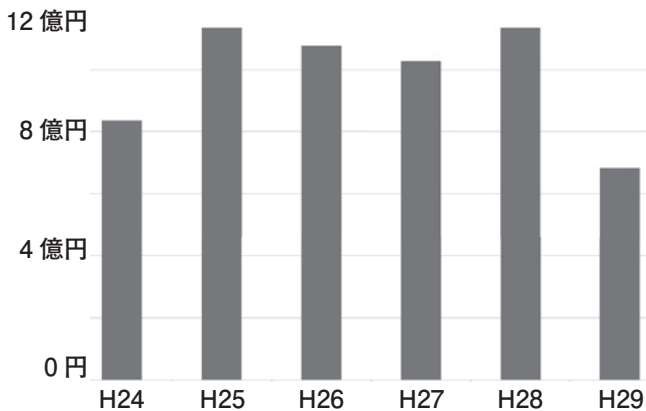
財政調整基金(貯金)を4億9千万円取り崩す厳しい財政運営

<歳入の概要>

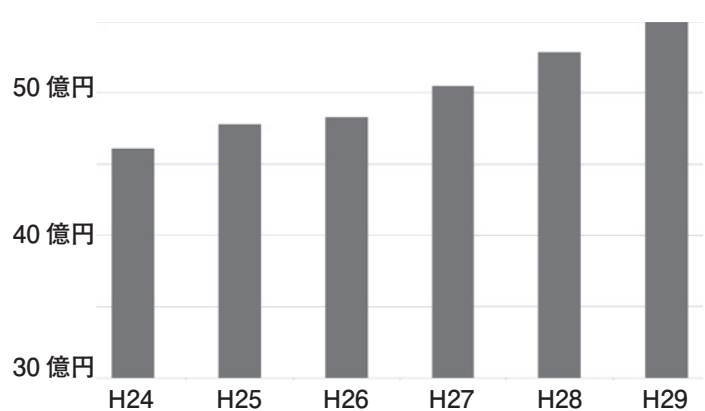
町 税は、個人住民税は減少するが、固定資産税の増、また、法人交付税は、自主財源の増加を見込み、前年度比4885万円の増額、地方交付税の減額、寄付金は、ふるさと納税の推進を旨とし、前年度比1180万円の増額、繰入金は、財政調整基金からの繰り入れが増加したため、前年度比4436万円の増額、町債は、子ども・子育て支援施設整備事業や臨時財政対策債の増加により、前年度比1億5800万円の増額となっています。



<財政調整基金(貯金)の推移>



<町債(借金)残高の推移>



※財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。

※道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金ですが、近年、地方交付税で補われる地方の財源不足を、国の財源不足から町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

※数字はいずれも年度末で H28 および H29 は見込み額です。



自主財源とは、国や県等に依存しないで町独自に調達できるもので、町税、繰入金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金などがあります。また、依存財源とは、国や県等に依存して調達する財源で地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債などがあります。

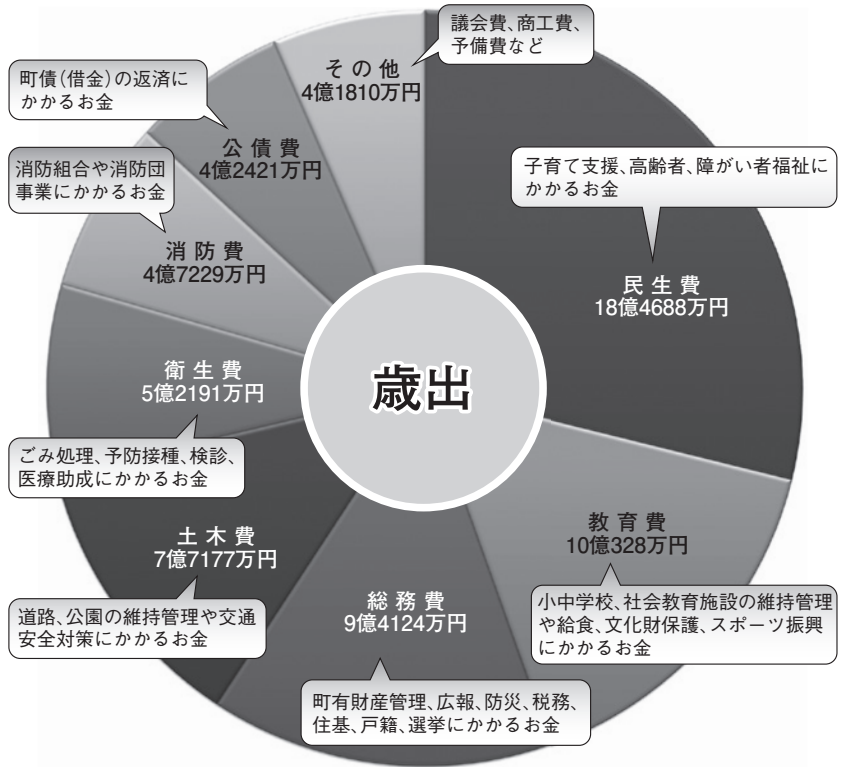
平成 29 年度当初予算

平成29年度予算額
63億9968万円

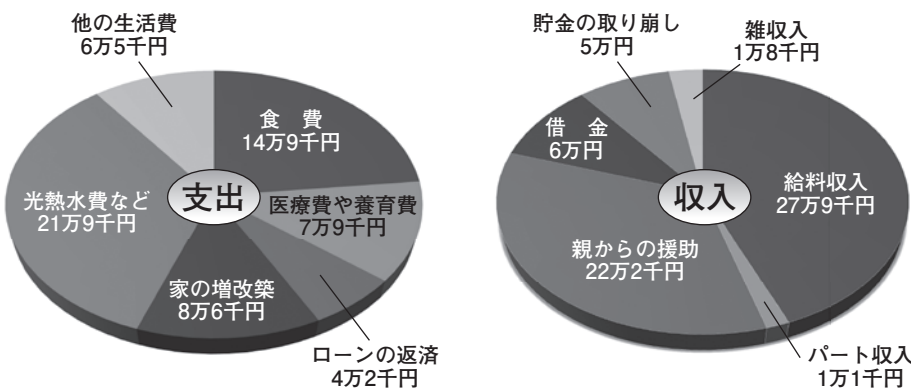
子育て支援施設整備等で

<歳出の概要>

総 務費は、役場東庁舎解体撤去等工事の終了等により前年度比1億2179万円の減額、民生費は、子育て支援施設設置工事等により前年度比1億451万円の増額、農林水産業費は、農業基盤整備事業等により前年比854万円の増額、商工費は、観光事業2707万円の増加等により前年度比23338万円の増額、土木費は、社会資本総合交付金を活用した道路改良事業の増加等により前年度比4278万円の増額、教育費は、中学校施設整備管理事業の減額等により前年度比845万円の減額となっています。



平成29年度予算をひと月の家計に例えると



平成29年度の一般会計予算について、1億円を1万円に置き換えて、ひと月の64万円の家計に例えてみると、左のグラフのようになります。貯金の取り崩しや借金をして家計をやりくりすることになり、昨年同様大変になりそうです。

<議案第11号から第14号 平成29年度各種会計予算額>

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
予算額	63億9967万8千円	44億7698万円	30億3579万4千円	12億1618万6千円	2億2500万円
議決結果	議案第11号 原案可決 (賛成12人 反対3人)	—	議案第12号 原案可決 (賛成14人 反対1人)	議案第13号 原案可決 (賛成14人 反対1人)	議案第14号 原案可決 (賛成13人 反対2人)

平成29年度予算に関する賛成反対討論

持続可能なまちづくりを進める予算編成であり **賛成**

平澤 昭敏 議員

子育て支援施設の設置による子育て施設の充実、高齢者が安心して生活できるまちづくり、教育ファシリテーターの配置、中学生の国際交流派遣事業、無料化を図ったスクールバス運行事業、地域未来塾の設置、防犯ボックスの設置等町民が安心して住める将来に希望が持てる持続可能なまちづくりを推し進める予算編成であり賛成。

町民ニーズを十分に踏まえた予算であり **賛成**

酒瀬川 健一 議員

厳しい財政状況が予想される中、子育て支援施設整備事業、通学路に係わる交通安全対策事業、また国の方針を十分に取込みんだ政策課題ごとに収支両面において適切な財政構成となっており、全体として均衡のとれた予算編成となっている。この町民のニーズを十分に踏まえた、新年度当初予算を速やかに執行されることが何よりも大切であることから賛成する。

厳しい中でも優先順位により編成され **賛成**

越川 廣司 議員

厳しい財政状況の中、工夫を重ね町長の任期中に実施すべき事務事業が優先順位により編成された予算であることから賛成。

観光物産館、道路事業の進め方に要望し **賛成**

齊藤 博 議員

アウトレット付近の国有地購入は、観光情報発信と特産品販売施設の建設用地だが、農業者や商工業者との接触はなく、事業の見通しも立たない中で用地を購入すべきではない。町道02・006号線整備は、すでに実施されている伊篠と本佐倉の道路改良工事で多額の予算が必要となるので2路線を優先すべき。この予算で町道の路線が決まると思うが、全体事業費が20億円を超える想定される事業であり、加えて中川調節池も実施するのであれば、町議会に対して十分な説明をすべき。

適切な配分であり **賛成**

御園生 浩士 議員

総合計画に則り安全・安心、魅力づくり、健康等に適切に配分さ

れているが、決算審査や監査委員の意見等に配慮することを求める。

暮らし福祉教育向上を優先にすべきであり **反対**

竹尾 忠雄 議員

町長は、施政方針で「中学校グラウンド拡張事業を進める」と表明しても予算がゼロでは進まない。「危険なグラウンド解消」を訴える生徒に寄り添う姿勢がない。一方で施策の優先順位も考えない「観光物産館」設計を含む建設用地購入費約2600万円は、財務局から「頼まれて」538㎡の国有地を予算計上するなら中学校グラウンド用地購入費に回すべき。青少年交流の家は「子どもたちが危険」だと建設を発注し受注者とのトラブルで完成前に工事が中断、1年間も何ら解決の手立てなく放置し、小坂町長には子どもたちの命を守る姿勢が見られない。「防犯ボックス」900万円は警察官OB3人分で1人300万円、これまでボランティアで活動してきた方々の配慮を欠いた今回の予算は住民協働の絆を壊す心配があり、多くの方々から不満が出ている。以上を指摘し反対する。

◆ 議案第15号 平成29年度水道事業会計予算額 ◆

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
予算額	5億7284万7千円	4億5174万7千円	514万1千円	4億5472万3千円	原案可決 (賛成15人 反対0人)
昨年度比	+492万6千円	-1億414万7千円	-735万円	+1億8327万7千円	

◆ 議案第16号 平成29年度下水道事業会計予算額 ◆

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
予算額	3億8625万2千円	4億4011万7千円	1億7429万6千円	2億8636万2千円	原案可決 (賛成15人 反対0人)
昨年度比	+3951万5千円	-142万7千円	+8440万5千円	+7608万4千円	

安心・安全なまちづくりが「歩前進」

防犯ボックス事業やプリミエール増築により安全性や利便性が向上



駅前交流センターに増築された「防犯ボックス」 地域を守る新たな担い手が誕生しました

平成29年3月議会で上程された議案等は次のとおりです。

議案

【議案第1号】

町準用河川管理条例を制定

河川環境の整備や流水の正常な機能を維持するため、河川法を準用する準用河川に指定することを検討していることから、行為の許可や占用料等の必要な事項を定める「酒々井町準用河川管理条例」を制定するもの。
※賛成多数で可決

【議案第2号】

税務住民課の事務の一部を健康福祉課に変更

保険事業と予防・健康づくり事業の係属強化を図るため、国民健康保険、後期高齢者医療お

よび国民年金に関する事務を税務住民課から健康福祉課に所管替えるもの。
※全員賛成で可決

【議案第3号】

介護休暇を県に準じるようにするための条例改正

育児または介護を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を容易にするため、深夜勤務、時間外勤務の制限に係る「子」の範囲拡大、介護休暇の分割等について所要の措置を講じるもの。
※全員賛成で可決

【議案第4号】

法律上の子の範囲が拡大されたことに伴う条例改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、法律上の子に準ずる者も対象とするよ

う子の範囲が拡大されたことから、所要の措置を講じるもの。
※全員賛成で可決

【議案第5号】

消費税率の引き上げ時期の変更に伴う条例改正

地方税法および地方交付税法の一部改正に伴い、消費税率の引き上げ時期の変更に合わせて、法人税割税率の引き下げおよび軽自動車税環境性能割の導入時期を本年4月1日から平成31年10月1日に延期するもの。
※全員賛成で可決

【議案第6号】

埋め立て等の規制の強化

適用外だった再生土等の埋め立て等に対して管理指導を行うとするとするもの。また、許可対象面積の引き下げや隣接地で行われた埋立て等も合算し許可の対象とするなど、安全基準等の規制の強化を図ろうとするもの。
※全員賛成で可決

【議案第7号】
一般会計を減額補正

補正予算の主な内容は、プリ

ミエール酒々井の増築、将来の財政需要に備え減債基金、地域福祉基金への積み立てを増額。

また、各種事務事業の整理等による決算見込みから減額等、調整を行うもので、年度内に終了

できない見込みの事業は繰越明許を、また、継続費および債務負担行為の設定、変更するもの

で、一般会計を2億1594万6千円減額するもの。

※賛成多数で可決



交流スペース等の増築で利便性向上が期待されます

＜一般会計補正予算額＞

補正前	67億4601万円
補正額	△2億1594万6千円
合計	65億3006万4千円

【議案第8号】
国民健康保険
特別会計を減額補正

補正予算の主な内容は、後期

高齢者支援金、介護納付金等の歳出確定に伴う減額及び高額療養費の歳出に備え増額するもの。

また、額の確定に伴い国庫負担

＜国民健康保険特別会計補正予算額＞

補正前	30億4226万9千円
補正額	△7464万円
合計	29億6762万9千円

金、国庫補助金を減額し、各種交付金等を増額するもので、国民健康保険特別会計を7464万円減額するもの。

※全員賛成で可決

【議案第9号】
介護保険特別会計を
減額補正

補正予算の主な内容は、総務

費、保険給付費、基金積立金などを減額するもの。また、保険給付費の減額に伴う国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、一般会計繰入金、準備基金

繰入金など、介護保険特別会計を8181万7千円減額するもの。

※全員賛成で可決

＜介護保険特別会計補正予算額＞

補正前	12億2337万1千円
補正額	△8181万7千円
合計	11億4155万4千円

【議案第10号】
後期高齢者医療
特別会計を減額補正

補正予算の主な内容は、後期

高齢者医療広域連合納付金を減額するもの。また、保険料を増額し、一般会計繰入金を減額するもので、後期高齢者医療特別会計を104万2千円減額するもの。

※全員賛成で可決

＜後期高齢者医療特別会計補正予算額＞

補正前	2億2018万8千円
補正額	△104万2千円
合計	2億1914万6千円

【議案第11号から議案第16号】
平成29年度一般会計、各特別会計、企業会計予算

平成29年度一般会計、各特別会計、企業会計予算については、4ページから6ページをご覧ください。

ださい。
※各議案とも可決

【議案第17号】
浦壁氏を教育委員に再任

現委員である浦壁京子氏が平

成29年3月23日で任期満了となることから、町の青少年の健全育成や社会教育の振興発展にご

尽力いただいた同氏を次期委員として再任したく、議会の同意

を求めるもの。なお、任期は※平成29年3月24日から4年間とする。

※全員賛成で同意



教育委員に再任された浦壁京子氏

<常任委員会定数変更一覧>

委員会名	変更前	変更後
総務常任委員会	6人	5人
教育民生常任委員会	5人	6人
経済建設常任委員会	5人	5人

平成29年3月議会で議員から提案された発議案等は次のとおりです。

発議案

【発議案第1号】
常任委員会の定数変更

町行政組織の改編による常任委員会の所管変更に伴い、現状を考慮して、総務常任委員会の委員定数を6人から1人減らし5人に、教育民生常任委員会の委員定数を5から1人増やし6人にしようとするもの。また、本年4月から会計課が会計室に変更されることに伴い、所要の改正を併せて行うもの
※全員賛成で可決

【発議案第2号】
議員の期末手当を
特別職に準じて引き上げ

議員の期末手当は、過去、特別職の期末手当に準じて、引き上げ、引き下げを実施しているが、平成28年12月定例議会において、特別職の期末手当の引き上げに関する条例改正が行われたので、特別職の期末手当の引き上げに準じて、6月分を「1・60月」から「1・65月」に、12月分を「1・75月」から「1・80月」にそれぞれ引き上げるもの。
※賛成多数で可決

【発議案第3号】
共謀罪創設に反対する
意見書を提出しようとするもの

すでに日本はテロ防止のための13本の国際条約を締結し、それに基づく国内法も整備されている。このもとで、あらためて「共謀罪」を創設することは、安倍政権による「戦争する国」づくりをさらに進めるためであり、現代版「治安維持法」とい

うべきものであることから、共謀罪を創設しないことを求める意見書を地方自治法第99条の規定により国に提出しようとするもの。
※賛成少数で否決

【発議案第4号】
暫定井戸の継続利用と
環境保全条例の見直し
を求める意見書を提出
しようとするもの

水道の代替水源が確保された場合の転換は、井戸の廃止ではなく、ハツ場ダム等の完成により、新たに確保した水源と同量の地下水汲み上げ量を削減するなど量的調整も選択可能とする



水道の安定供給のため暫定井戸の継続利用を
議会として要望（写真は尾上浄水場）

こと。また、県内における地下水揚水および地盤沈下に関するモニタリング調査を基に、揚水と沈下の因果関係を科学的に整理するとともに、条例制定当時から状況の変化に照らし、適時適切な条例の見直しを行うことを求める意見書を地方自治法第99条の規定により千葉県に提出しようとするもの。
※全員賛成で可決

【発議案第5号】
核兵器禁止条約の早期
実現を求める意見書を
提出しようとするもの

核兵器廃絶と世界恒久平和に向けて着実な一歩を踏み出すための「核兵器禁止条約」の実現こそが急務であることから、日本政府には「核兵器のない世界」の実現に向けて、戦争被爆国として、これまで以上に力強いリーダーシップを発揮し、核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に努力することを求める意見書を地方自治法第99条の規定により国に提出しようとするもの。
※賛成少数で否決

発議案への
賛成討論

【発議案第5号】

国連で核兵器禁止条約
交渉会議が成功するた
めにも賛成

竹尾 忠雄 議員

1日でも早く核兵器が地球上から無くなるために平和市長会議や町内の団体など様々な方が活動している。平和都市宣言をした町として、国連で核兵器禁止条約交渉会議が成功されるためにも賛成する。

【発議案第5号】

被爆地の出身者として核兵器禁止条約の早期実現に向けた意見書の提出に賛成

濱口 信昭 議員

主義主張等に関係なく、被爆地長崎市の出身者として、核兵器には反対の立場をとっている。したがって「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた意見書の提出には賛成である

各常任委員会での 審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長
○…副委員長

総務常任委員会

※議会事務局、総務課、企画財政課、
会計室、選挙管理委員会、監査委員
その他の事務についての審査を担当委員 ◎佐藤／○那須
御園生／内海
江澤／平澤

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	行政組織条例の一部を改正する条例の制定	5	0	原案可決
議案第3号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	5	0	原案可決
議案第4号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	5	0	原案可決
議案第7号	一般会計補正予算（第6号）	4	1	原案可決
議案第11号	平成29年度一般会計予算	4	1	原案可決

教育民生常任委員会

※税務住民課、住民協働課、健
康福祉課、教育委員会、固定資産
評価委員会についての審査を担当委員 ◎高崎／○濱口
齊藤／越川
地福

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定	4	0	原案可決
議案第7号	一般会計補正予算（第6号）	3	1	原案可決
議案第8号	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	4	0	原案可決
議案第9号	介護保険特別会計補正予算（第2号）	4	0	原案可決
議案第10号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	4	0	原案可決
議案第11号	平成29年度一般会計予算	3	1	原案可決
議案第12号	平成29年度国民健康保険特別会計予算	3	1	原案可決
議案第13号	平成29年度介護保険特別会計予算	3	1	原案可決
議案第14号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	3	1	原案可決

経済建設常任委員会

※経済環境課、まちづくり課、
上下水道課、農業委員会に
つての審査を担当委員 ◎酒瀬川／○須藤
川島／竹尾
小早稲

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	準用河川管理条例の制定	4	0	原案可決
議案第6号	土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定	4	0	原案可決
議案第7号	一般会計補正予算（第6号）	4	0	原案可決
議案第11号	平成29年度一般会計予算	2	2	原案可決 ※委員長採決
議案第15号	平成29年度水道事業会計予算	4	0	原案可決
議案第16号	平成29年度下水道事業会計予算	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	本会議の採決結果		
		賛成	反対	結果
1	準用河川管理条例の制定	14	1	原案可決
2	行政組織条例の一部を改正する条例の制定	15	0	原案可決
3	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	15	0	原案可決
4	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	15	0	原案可決
5	税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定	15	0	原案可決
6	土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定	15	0	原案可決
7	一般会計補正予算（第6号）	14	1	原案可決
8	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	15	0	原案可決
9	介護保険特別会計補正予算（第2号）	15	0	原案可決
10	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	15	0	原案可決
11	平成29年度一般会計予算	12	3	原案可決
12	平成29年度国民健康保険特別会計予算	14	1	原案可決
13	平成29年度介護保険特別会計予算	14	1	原案可決
14	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	13	2	原案可決
15	平成29年度水道事業会計予算	15	0	原案可決
16	平成29年度下水道事業会計予算	15	0	原案可決
17	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	15	0	原案同意

議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者	本会議の採決結果		
			賛成	反対	結果
1	委員会条例の一部を改正する条例の制定について	平澤昭敏議員 他5人	15	0	原案可決
2	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	平澤昭敏議員 他5人	13	2	原案可決
3	「共謀罪」創設に反対することを求める意見書の提出	地福美枝子議員 他2人	5	10	原案否決
4	暫定井戸の継続利用と県環境保全条例の見直しを求める意見書の提出	竹尾忠雄議員 他2人	15	0	原案可決
5	「核兵器禁止条例」の早期実現に向けた意見書の提出	地福美枝子議員 他2人	7	8	原案否決

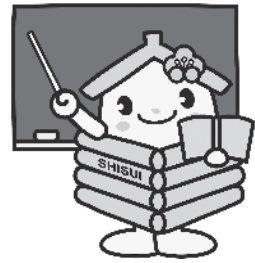
※件名は一部省略しています。

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。3月定例会の一般質問は、3月15日と16日の2日間に12名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。3月定例会の会議録は、6月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター 井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 御園生 浩士 議員・・・・・・・・P 13

- ◆ちびっこ天国
- ◆酒々井町景観条例等
- ◆酒々井町青少年交流の家
- ◆千葉氏まつり、ふるさとまつり、新酒祭
- ◆再生可能エネルギー

No.2 越川 廣司 議員・・・・・・・・P 13

- ◆町長の政治姿勢
- ◆新年度予算編成
- ◆本佐倉城跡

No.3 平澤 昭敏 議員・・・・・・・・P 14

- ◆高齢ドライバーの自主返納に対し乗車券の提供を
- ◆書籍消毒機の導入
- ◆職員の不正会計、情報漏洩防止
- ◆小中学校の給食費の就学援助

No.4 那須 光男 議員・・・・・・・・P 14

- ◆ふれ愛タクシーの1台減車
- ◆（仮称）青少年交流センター建設工事
- ◆防災無線のデジタル化

No.5 酒瀬川 健一 議員・・・・・・・・P 15

- ◆定住促進事業
- ◆生活道路を安全に

No.6 濱口 信昭 議員・・・・・・・・P 15

- ◆子育て支援
- ◆町内歩道
- ◆酒々井町総合計画

No.7 川島 邦彦 議員・・・・・・・・P 16

- ◆国民健康保険
- ◆事業所移転（社会福祉協議会、地域包括支援センター）
- ◆町道整備

No.8 齊藤 博 議員・・・・・・・・P 16

- ◆小坂町長の「情報共有」に対する姿勢
- ◆在宅介護支援手当の創設
- ◆スクールバスの運行制度
- ◆軽スポーツ施設の整備
- ◆青少年交流の家

No.9 須藤 伸次 議員・・・・・・・・P 17

- ◆酒々井コミュニティプラザ改修計画の進捗状況
- ◆町のPR方法の現況と今後
- ◆県道宗吾酒々井線の拡幅工事

No.10 佐藤 修二 議員・・・・・・・・P 17

- ◆町の事業関連
- ◆安全・安心のまちづくり
- ◆地震災害対策
- ◆年間行事の重複

No.11 竹尾 忠雄 議員・・・・・・・・P 18

- ◆子育て支援センター
- ◆町道02-006号線道路改良計画
- ◆狭隘道路解消
- ◆ふれ愛タクシー減車とスクールバスの購入
- ◆学校給食費の軽減化

No.12 地福 美枝子 議員・・・・・・・・P 18

- ◆町の地下水利用
- ◆子どもの支援策
- ◆青少年交流センター

※一般質問は本紙に掲載してあるものをゴシック体で表記してあります。

問 ちびっこ天国の休園に関して施設解体費用と基金の残高は

答 解体費用は概算で2億円、基金は1億8千万円を見込んでいます



議員 生園 浩士

問 本年度は休園となったが、使用中の敷地を京成電鉄へ返却する場合の施設解体費用の積算額を伺う。その原資となる基金残高についても併せて伺う。
経済環境課長 解体費用は過去の参考見積もりによる積算では、概算で約2億円と試算されている。また、基金残高は平成29年3月で1億8千万円を見込んでいます。



今年度は休園が決まった酒々井ちびっこ天国

景観計画の進捗状況は

問 景観法の概要と意義について伺う。また、景観計画の策定が他市町村に先駆けて行われているが進捗状況を伺う。

町長 景観法は都市や農山漁村等における美しく風格ある国土の形成などを目的とし、市町村が中心的な担い手と



問題の早期解決が望まれている青少年交流の家

なるよう景観行政団体という新しい概念が導入されている。進捗状況は県内で3割程度の市で策定済みとなっている。当町では平成28年度中に策定が完了するので早い方だと考えている。

青少年交流の家の交渉経過は

問 昨年12月より本年3月までの(株)ヤマロクとの交渉経過を伺う。また、平成29年度予算に対策費は計上しているのか併せて伺う。

生涯学習課長 9月15日にヤマロク代理人弁護士よりの通知で2446万791円の請求内訳を近く示すとされた以降、相手側からの通知はない。また、予算は今後の予定が不確実なため、計上していない。目的物の引き渡しの際が正しい金額が確定したら補正予算として議会にお示ししたい。

問 町長は本年12月に3期目の任期満了を迎えるがどう考えているのか

答 町をさらに飛躍させるため町政の舵取りを担わせていただきたい



議員 越川 廣司

問 町長は、自立を選択した平成17年に初当選され、数多くの実績をあげてきたが、残された事務事業は山積をしている状況である。本年12月6日に3期目の任期満了を迎えるが、町長の考え方を伺う。

町長 町民の皆様をはじめ町議会議員の皆様のお許しをいただけるのであれば、酒々井町を未来に向けてさらに飛躍させるため、町政の舵取りを担わせていただきたい。

どのような予算編成をしたのか

問 任期最後の予算編成において、どのような点に留意したのか。その特徴と主要事業について伺う。また、千葉県骨格予算編成が当町の予算編成に影響はないのか伺う。

町長 平成29年度は第5次総合計画、後期基本計画がスタートする年であり、6つの基本目標の実現に向け、前期基本計画での成果を継承しつつ、各種施策における町民皆様の満足度向上を目指し予算編成を行った。なお、県の予算の影響は町の予算に特段影響はない。

本佐倉城跡周辺整備の状況は

問 ① 進入路の妙見神社下の回転広場は、どのように整備し、活用しているのか。また、その先の入り口広場までは、どのように考えているのか伺う。
② 根古谷内の主要道路は、昭和43年頃に簡易舗装されたままで、いたる所で破損している。いつ頃整備しようとしているのか伺う。
③ 周辺整備について、いまひとつ全体像が見えない状況である。今後どのように整備をしていくのか伺う。
④ 本佐倉城跡の未指定地域は、関係機関と指定地の追加方法や工程など検討していくとのことだが、検討内容について伺う。

まちづくり課長 ① 回転広場は、団体観光客のバス回転場を整備する。

② 道路改良工事の迂回路の予定区間は整備できるよう検討する。

生涯学習課長 ③ 駐車場、トイレ、管理詰所倉庫等を整備し観光資源の中心として利活用を図っていく。

④ 継続して国に追加指定の打診を行い、県に補助金の要望をしている。

問

免許自主返納者に対して公共交通機関等の乗車券を提供できないか

答

今後調査、研究していく必要があると考えている



平澤 昭敏議員

問 高齢ドライバーの事故が近年多くなり、自主返納する人に対し、公共交通機関の乗車券やふれ愛タクシーの乗車券を提供するなど、返納しやすいようにできないか伺う。

総務課長 町としては、警察からの依頼により自主返納に関するポスター等を掲示し広報等を行っている。また、交通安全協会の協力により、交通安全運動期間において、街灯監視や街頭啓発キャンペーンなどでチラシや啓発物資を配布し、高齢者の交通安全対策に取り組んでいる。運転免許証を返納しやすくする方策については、高齢者世帯における生活スタイルが多様であることから今後調査、研究していく必要があると考えている。



運転免許を返納しても不便にならない環境づくりを

図書館に書籍消毒機の設置を

問 町立図書館の本は、不特定多数の方の手に触れることから、子どもの保護者から感染症の不安などの声が上がっている。そこで、書籍を清潔に保つため、紫外線で消毒、殺菌、消臭できる書籍消毒機の導入について伺う。

生涯学習課長 図書館では子どもから高齢者まで幅広い層の皆様にご利用していただきますので、本に汚れなどが付着していた場合は、除去するなど書籍を清潔に保てるよう心掛けていますが、書籍消毒機導入については、今後、他の図書館での導入状況を見ながら検討していきたいと考えている。



幅広い層の方が利用している図書館

問

ふれ愛タクシー1台減車を回避する努力をしたのか

答

利用実績から1台減車となっても大きな支障はないと考えている



那須 光男議員

問 ふれ愛タクシーの1台減車について次の点を伺う。

- ① 千葉グリーンバスが2台から1台減らすことを申し入れてきた日時、町がその申し入れを受け入れた日時。
 - ② 今後も同様の申し入れがあった場合、受け入れなければならないのか。
 - ③ 過去3年間の利用者数が年々増加しているが、1台減っても支障がないとする具体的根拠について。
 - ④ 平成28年度はまだ数日残されているが利用者数の見通しについて。
 - ⑤ 平成24年に関越自動車のバス事故以降、規則や管理が厳しくなり、運行コストも大幅に増加した。にもかかわらず町はふれ愛タクシー委託料をほとんど値上げしなかった結果、バス会社に1台減車させることに追い込んだのではないか。
 - ⑥ 増え続ける買物難民、多発する高齢運転者死亡事故、高齢ドライバーの運転免許自主返納運動の高まりなど、ふれ愛タクシーの重要性・必要性がますます高まっている今日、減車することはまさに真逆の施策ではないか。
 - ⑦ 1台減車を回避するために、どのように取り組んだのか、以上伺う。
- 健康福祉課長 ① 昨年10月に申し入れがあり、12月定例会で車両購入の議案を可決いただいた後に受け入れた。
- ② 利用状況や移動困難者への支援等、総合的に検討したいと考えている。
 - ③ 運行日報の利用実績から大きな支障はないと考えている。
 - ④ 5月の運行委員会で利用者の実績が判明する。
 - ⑤ 膨大な経費の増額となることから限りある財源等を鑑み、運行実績から3台で対応できると考えている。
 - ⑥ 高齢者や障害者が外で活動することとは、健康づくり等の観点から大変重要であると考え、健康で歩いて暮らせるまちづくりに取り組んでいる。また、今後は、重度心身障害者等への福祉タクシー事業（助成事業）を拡充し外出しやすい環境づくりを支援していく。
 - ⑦ 撤退した13人乗りを他社から借り上げる場合、他社は10人乗りのみ保有なので2台分の経費を要することから、町でスクールバス1台を購入した。

問

若者世代の定住で地域の活性化を

答

空き家バンク事業や農家の担い手育成支援事業等を事業化している



酒瀬川 健一議員

問 人口減少に向かっている日本では、人口流入と定住化を促進するため、若者世代や子育て世代を支援し、移住や定住の一層の促進を図る「定住促進事業」が全国の市区町村が増えてきているが、町でも「定住促進事業」を検討されているのか伺う。

町長 地方創生の取り組みの中で、空き家の実態調査を行う「空き家対策事業」空き家の実態調査等をデータ化し有効活用を図る「空き家バンク事業」



定住化を促進し町に新たな世帯が形成できるように

また、農作業の省力化、生産性向上により地域の担い手を育成する「担い手育成支援事業」などを事業化している。まちづくり課長 定住化の促進を図るため、市街化区域未利用地へのアクセス道路の整備を予定している。

生活道路の最高速度を

規制できないか

問 幅員の狭い道路は日常生活での安全や緊急車両の進入が困難であることから、速やかに改善すべきと考えるが、また、住宅地内の最高速度を規制する「ゾーン30」は、歩行者や自転車の安全対策を行うもので、幹線道路からの抜け道となつている場所の交通量と事故を減らす狙いがあるが、町でも検討されているのか伺う。

総務課長 「ゾーン30」は、東酒々井1丁目の信号機から動物公園を通り大森公園信号機までの区間において、歩行者の安全及び通学路の安全対策上の観点から警察と現況調査を行ったところ速度規制は可能との回答を得た。今後は、要望があれば警察と協議を進めたいと考えている。

問

子育て支援施設の具体的な建設内容および事業内容は

答

幼児室、キッチン、会議室などを設け各種支援事業を実施していく



濱口 信昭議員

問 新たに建設予定の子育て支援施設について次の点を伺う。

- ① 建物の中にとどのような施設があり、そこどのような事業を行うのか。
- ② 保健センターとの連携を強化するといわれたがその具体的な計画は。
- ③ 新たな支援施設の町内外へ向けての特徴点、アピールポイントは何か。

こども課長

① 施設には、幼児室、食事スペース、キッチン、会議室などを設ける予定である。事業は現在あいあいルームで実施している「地域子育て支援事業」「利用者支援事業」に加え「ファミリー・サポート・センター事業」を実施する。

② 新施設で保健センターの保健師、栄養士、歯科衛生士が子育て講座や相談、保健センターの母子保健事業の紹介や説明を行いたいと考えている。また、現在保健センターで実施しているマタニティー・ママパクラスの講座を新施設で出来るよう検討している。

町長 ③ 岩橋保育園に隣接することから両方の施設が協力し合える。また、町内のボランティアや農業、商業、近

隣の方々等の協力をいただき、利用者が喫茶を楽しむなど、子育ての方がリラックスできる場所にしていきたい。

歩道の整備計画と維持管理状況は

問 町内の歩道について次の点を伺う。

- ① 歩道に関する町の基本的考え方および歩道整備に関する計画は。
- ② 具体的な事例として、ふじき野から尾上方面へ向かうファミリーマートの歩道、県道の歩道未設置部分および町県国道に共通して、道路脇の雑草や枯れ枝、土砂等の処理対応について。

まちづくり課長 ① 交通量の多い幹線道路は交通安全の観点から歩道は必要であり、特に通学路については積極的に整備するものと考えている。

② ふじき野から尾上の歩道は境界が不明確なことから境界確定後に検討していく。県道は町から優先順位を踏まえて県に設置要望している。雑草等の対応は国県道はパトロールや住民の通報により現地を確認し各道路管理者に連絡している。町道は随時対応し定期的に除草等の業務委託を発注している。

問

国保税の大幅な変更はないか

答

納税者に大きな変動等が生じないように留意して方向性を決めたい



川島 邦彦議員

問 国民健康保険の財政運営が平成30年度に県へ移行することから町の準備対応および保険税算定基準見直しの有無について伺う。

① 町民周知期間を考慮して、条例制定は年内に可能か。

② 資産割を採用している市町村は少数と推測するが継続するか。

③ 低所得者に対する軽減措置の財源は一般会計から繰り入れているが継続するか。

④ 高所得者に対する限度額(68万円)は継続するか。

税務住民課長

① 県が今年の12月議会での条例改正を目指していることから、町ではその後の3月議会での改正を考えている。

②、④ 現在検証中であるが、試算結果を参考に、今年の夏くらいには、算定方式や税率を検討する必要がある。また、納税者に大きな変動等が生じないように留意して方向性を決めていきたいと考えている。

③ 繰り入れについては、今までと変わりないと考えている。

社会福祉協議会および地域包括支援センターの役場庁舎内移転の状況は

問 ① 移転時期が違う理由は何か。

② 生きがいデザイナー事業の関係者との協議状況。

③ 会議室等の確保はどうか。

④ 移転は恒久化か、福祉会館の建設計画を検討する考えはないか。

健康福祉課長

① 社会福祉協議会は業務上の都合により、7月以降に変更したい旨の申し出があった。

② 役員会で事情を説明し了解を得た。

③ 役場庁舎内の会議室や中央公民館等の活用を考えている。

④ 役場西庁舎1階の事務室の移転に向け準備を進めている。

本佐倉城跡までの町道整備の状況は

町道整備の状況は

問 上本佐倉から本佐倉城跡までの町道02・011号線整備について進捗と見通しを伺う。

まちづくり課長 約220mの工事を

実施した。一部用地協力が得られない部分や財源確保も厳しい状況ではあるが、鋭意完成を目指している。

問

各種事業の設計額を公表すべき

答

入札前に事業費を公表すると入札の公正さを害する恐れがある



齊藤 博議員

問 ① 町長の「情報共有」の姿勢について、昨年の12月議会で、民間に設計等を委託した主な事業について、委託結果としての事業費等を質問したが『予算額は答えられない』と答弁しなかった。私は「1年、1年の予算を聞いていくわけじゃなくて、全体の事業費を質問しているんだ」と反論したが、町は『予算額は答えられない』を繰り返して答弁をしなかった。限られた予算の中で、どの事業が優先か、等を判断する場合、どれだけのお金がかかるかを知らなければ判断ができない。なぜ、答えられないのか。町長は、『町民との情報の共有』を約束していたが変質したのか。

② 「予定価格」に支障があるというのは、論外の理由です。「予定価格」とは、概算の事業費を精査し、「1年、1年の予算」を組んだ後、工事等を発注するための入札等に際し町長が定めるものだから、何の支障はないはずで、答えられない理由にはならない。

副町長 ① 町では予定価格を入札前に公表しておらず、設計委託により積

算された事業費を事前に公表すると予定価格が類推され入札の公正さを害する恐れがあることから公表してない。

町長 ①、② 情報公開の約束については、特に変わってはいない。特定の設計や施設について入札前に事業費等を類推すると健全な競争を妨げることにつながるのではないかと、業者への価格提供のほう助となるのではと心配している。また、事業を執行する時点での単価によって正確に計算した中で発注をしていけばいいが、時間的な経過等により憶測を招くようなことは適正な情報公開でないと思っている。予想の議論ではなく確実なもの、その時々

の単価によってしっかりとした発注をしていくことが大事である。入札後は情報を公開している。

副町長 ② 事業の実施に当たっては交付金、補助金等の財源見込や事業に関する事業を考慮しながら実施時期、実施内容を精査する必要があることから、予算計上されていない予算額を答弁することは困難である。

問

コミュニティプラザを憩いの場として施設の充実を図るべき

答

高齢者が利用できる健康づくりや食の提供の場を盛り込む予定



須藤 伸次議員

問 築30年余り経過している酒々井コミュニティプラザ改修計画について、いつ清掃組合に提案、要望を行ったのか伺う。老朽化に対応した改修だけでなく、町民からの要望である温水プールや足湯、トレーニングルーム、カフェテラス、懇親会の会場等を作り、憩いの場として施設の充実を図るべきと考えるが、町の考えを伺う。

経済環境課長 平成26年6月に酒々井コミュニティプラザ検討委員会を設置した当時から要望した。

町長 検討委員会の意見を参考にしながら、高齢者が利用しやすいバリアフリー化、健康づくりの場や食の提供などを盛り込んだ施設の改修について、民間の活力を導入したプロポーザル方式により実施を予定している。

日本一古い町酒々井の

PR方法を伺う

問 今後は食べ物だけにこだわらず物品等の「物」から行事、歴史、伝統、文化などの「事」を対象としたオリジナル性のある「事」を考えて、大人だけでなく子どもたちの意見、発想を生

かす考えがあるのか伺う。

企画財政課長 酒々井・千葉氏まつりやふるさとまつりと新酒祭の同時開催など取り組みを展開し、新たな交流人口を呼び込むことができた認識している。今後も酒々井らしいオリジナル性のある取り組みを展開し、インターネット等を活用し、広く情報発信していく。子どもたちからは、子ども模擬議会や中学生との意見交換会、酒々井の町づくり授業等を通じ、情報交換を積極的に行っていきたいと考えている。

県道宗吾酒々井線の路面標示の改善を

問 県道宗吾酒々井線の拡幅工事が遅々としているが、生活者の安全のため、事故防止の観点から「学童歩行」「スピード減速」「停止線」「横断線」等の路面標示をはっきりと見えるように早期に改修、新規に標示すべきと思うが、実施できる見通しを伺う。

まちづくり課長 交通安全対策の重要性が高い路線であるので、歩道整備、路面標示等の改修および新設について、道路管理者の県と協議していく。

問

町民体育館は減築施策の対象となるのか

答

公共施設等総合管理計画の中で改めて検討していく



佐藤 修二議員

問 町の事業については限られた予算の中で効率的な事業の推進が見られているが、次の点について伺う。

- ① 人口減少問題が課題となる中で、当町でも施設の減築や多目的化を推進することが重要と述べられている。検討された町民体育館の建設は今後、規模等減築政策の対象になるのか伺う。
- ② プリミエール酒々井は土曜、日曜等はイベントで満杯になり、その都度駐車場の問題が出ている。上野作跨線人道橋付近の都市計画道路空地は駐車場として利用は不可能なのか伺う。
- ③ J R酒々井駅に設置が予定されている駐輪場について、用地の問題等、現況と今後の見通しについて伺う。

町長 ② 現在も臨時駐車場として随時利用されているが、駐車場や上野作跨線人道橋のバリアフリー化を含めた公共空地の有効活用を検討している。

まちづくり課長 ③ 平成28、29年

度で土地を購入し交付金の付き具合にもよるが都市再生整備計画では、平成32年度までに整備する計画である。

雨水排水路の維持管理状況は

問 ① J R成田線沿いのコンクリート柵水路に土砂が堆積している。特に「くすりの福太郎」脇の水路は土砂が水路断面の半分近く埋まっている部分もあり、氾濫の恐れが考えられるが町の対応について伺う。

② 中央台公園の暗渠排水は昨年終了したが、ふるさとまつりでは強い雨で会場が水浸しとなった。再度暗渠の増設と良質土による不陸整正をすれば問題は解消されると思うが見解を伺う。

上下水道課長

① 12月に水路内除草を行ったが、適切に排水されるよう土砂を撤去する等、維持管理に努める。

まちづくり課長 ② これまでの暗渠排水に加え、広場の表面をダスト系の舗装とし、さらに1%から2%排水勾配を施し、周囲に布設する側溝等により流末に排水することが最も効果的であることから当初予算に計上した。

問

抵当権が設定された土地を購入
口利きがなかったと断言できるか

答

手続き的には何ら問題ない



竹尾 忠雄議員

問

町の地下水は今後も使えるのか

答

地下水を基本とした水道供給に
変更ないと考えている



地福 美枝子議員

問 平成27年12月議会に子育て支援施設
設用地購入費4138万5千円の補正
予算が提案され、約1か月間の超スピ
ードで購入された。土地登記簿謄本(登
記事項証明書)によると平成28年2月
9日に契約し、同日に抵当権が抹消さ
れ酒々井町に記載されている。「土地
を購入してほしい」との口利きはなか
ったのか町長に伺う。抵当権が設定さ
れている土地を町が購入するにあた
り、政治家等の「口利きがなかった」
と町長は断言できるのか。町は更地で
の不動産鑑定評価を平成28年1月8日
に依頼したので解体費用1047万6
千円は土地代金3674万9062円
から差し引いて契約するのが常識と考
えるが見解を伺う。また、既存建物は
寄付を受けたというが再活用できるか
調査をしたのか伺う。

町長 人が住んでいた建物なので、通
常であれば、土地は用地買収、建物は
補償費を支払うところだが、建物の寄
付をいただいた場合でも補償費の範囲
内で撤去できると判断し、用地は更地
扱いで購入した。手続き的には何ら問

題ない。

こども課長 既存の建物は寄付を受け
利用できるか検討することとしていた
ため、利用できない場合は、解体費用
が必要となることから予算計上した。

国道を結ぶ町道の路線は
決定したのか

問 町道02・006号線(国道51号
と国道296号を接続する道路)はJ
R超えを含め測量、設計費が3年間で
1219万円支出しているが、オーバ
ー(JR超え)で設計委託している。
中央台1丁目から消防署前に接続が可
能なのか伺う。また、3年間税金を使
ってきたが計画路線は決定したのか伺
う。JRを超える勾配は何度か伺う。

まちづくり課長 当該路線は中心市街
地から酒々井インターチェンジへの連
絡機能やJR線路による交通ネットワ
ークの分断を改善するために大変重要
な路線である。JR線路の横断工法選
定は計画を進める上で基本的な問題で
あるため慎重に検討する必要がある。
また、計画路線は検討段階である。勾
配については10%で検討している。

問 町の地下水は今後も使えるのか。

町の暫定井戸の状況と2月1日に県へ
要望した経緯と面談結果を伺う。

上下水道課長 町の暫定井戸は2本で、
八ッ場ダムに代表される新たな代替水
源が確保された場合は新水源に転換す
ることが求められているが、地下水を
基本とした水道供給に変更はないもの
と考えている。県へは災害時等に対応
するため、表流水、地下水など性格の
異なる複数の水源を確保することが重
要であることから、県条例の見直し等
について、印旛郡市9市町の連名によ
り県知事に要望書を提出した。

子どもの支援策の充実を

問 ①「子どもの貧困対策の推進に関
する法律」に基づき、町においても貧
困の調査をすべきではないか。

② 就学援助の支給額は、国とほぼ同
じで低い。引き上げとともに追加項目
はないか。

③ 入学準備金は3月までに必要なも
の。小中学校それぞれの支給額は。ま
た入学に間に合うよう前倒しで支給す
べきではないか。

④ 学校給食の無償にした大多喜町と
神崎町。また軽減している市町村が増
えてきている。町としても行って欲し
いかどうか。

健康福祉課長 ① 実態調査は、プラ
イバシー等の問題もあることから行っ
ていない。
学校教育課長 ② 現時点では新たに
追加する項目は考えていない。

③ 現在6月に支給しており、前倒し
についてはすでに検討しているが、他
市町村の状況を注視していく。

④ 学校給食法で食材費は保護者負担
となっており、無償化や補助について
考えていないが、他市町村の動向を注
視していく。

青少年交流の家の対応は

問 「青少年交流の家」の建設が全く
進んでいない。双方の意見が対立した
ままでは老朽化している建物にいな
子どもたちの危険度はさらに増す。早急
に解決策を積極的に行うべきだが。

生涯学習課長 現在動きはないが今後
も代理人弁護士と協議し対応してい
く。

富里市の子育て支援施設を視察

新設された富里市こども館葉山キッズランドを視察



床面に映し出された画面を触ると映し出された映像が様々な反応をする
インタラクティブ・プロジェクションシステム

最新の子育て支援施設の概要と子育て支援について研修するため、2月から開園した富里市こども館（葉山キッズランド）を開園前の1月30日に町議会議員が視察しました。こども館では、子育て支援センター事業と一時保育事業、放課後児童健全育成事業を実施しており、建物の床面積は約450㎡でインタ



子育て支援策や最新設備等について学びました

ラクティブ・プロジェクションシステム等を導入するなど最新の機器を取りそろえた施設となっていました。
参加した議員からは最新機器の説明や隣接する葉山保育園との連携等について活発な質疑がなされました。町議会としては、今回の研修内容を酒々井町の子育て支援事業の参考にさせていただきます。と考えています。

平成29年4月臨時議会で上程された議案等は次のとおりです。

議案

〔議案第1号〕
国の法改正に伴い町国保税条例を改正するもの

地方税法および航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、町国民健康保険税条例の軽減措置を拡充するため、同条例の一部改正を専決処分により制定、公布したことから、議会に報告、承認を求めるもの。

※全員賛成で承認

〔議案第2号〕
番号法の改正に伴い関係条例の改正を行うもの

個人情報保護に関する法律および行政手続法における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行による行政手続法における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の改正に伴い影響が生じる条例の改正を行う

もの。
※賛成多数で可決

<臨時会での議決結果>

議案番号	本会議の採決結果		
	賛成	反対	結果
議案第1号	15	0	原案承認
議案第2号	13	2	原案可決

6月定例会のお知らせ

次の定例会は、6月上旬に開会する予定となっております。会期の概要は、5月下旬に開催予定の議会運営委員会で決まります。会期の概要が決まりましたら、町議会のホームページやポスターでお知らせします。

また、本会議は、一般に公開され、傍聴することができ、傍聴席の定数は25名となっております。なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ (496) 1171
(内線251、252)

伝統芸能継承者に聞きました

- ① 獅子舞を始めたきっかけは？ ② 続けていく工夫をしていますか？
③ 町および町議会にどのようなことを期待していますか？



青柳 颯馬さん (12 歳)

- ① 学校の授業で獅子舞を学びやってみたくと思った。
- ② 友だちを呼んで獅子舞を広めたり勧誘している。
- ③ 獅子舞の伝統やすごさを日本中に広めてほしい。



宇佐見 潤さん (47 歳)

- ① 地区の先輩に誘われたから。
- ② 続けていくものだと思っているので特に工夫はしていない。
- ③ 後継者に関する情報伝達と人材発掘。



伊藤 雅美さん (35 歳)

- ① 自分が住んでいる町の行事に関わりたかった。
- ② 身近な人への声掛け、様々な所への情報発信。
- ③ 多様な方法での情報発信。



4月2日に行われた上岩橋の獅子舞



木村 充宏さん (41 歳)

- ① 子どものころから見ていたのでいつかやるであろうと思っていた。
- ② 楽譜がなかったのでパソコンを使い譜面化した。
- ③ 楽器 (笛) が欲しい。



前田 真之介さん (26 歳)

- ① 妻が地元の方に連絡してくれた。
- ② 獅子舞体験やメディア(テレビやネット)との連携。
- ③ 情報発信の強化。



木村 敏大さん (38 歳)

- ① 子どものころからやってみたく思っていた。
- ② 獅子舞を見に来てもらうため声掛けをしている。
- ③ 多くの方が見学できるように協力してほしい。

委員長 酒瀬川 健一
副委員長 川島 邦彦
委員 濱口 信昭
委員 齊藤 博
委員 江澤 真一
委員 平澤 昭敏

今回は、上岩橋の獅子舞保存会の方々にご協力をいただき、意見や感想を伺いました。今後、多くの方々のご意見を取り入れながら、紙面を作っていきます。

編集にあたって





マチイロ

マチを好きになるアプリ



App Store
からダウンロード



ANDROID アプリ
Google play



スマートフォンの
読める
広報が